



須藤 典夫 議員

災害復旧に全力を尽くせ

回答 県と協力して対応

頼れるのは町、補助率の上乗せを

や消防団員の個別の避難誘導等、早急な対応によるものと思つてい

設置のまま対応した。ただ、振り返って見ると、対策本部を設置できる規定があつても、職員で対応するにしても限度があるので、夜間、休日の場合の対策

にあたる体制をさらに職員が意識を高めて、今度こういう事が起きた場合どうすればいいのかと、そういうことを想定しておく必要があると感じた。

国土交通省からの補助を頂くようになれば、24時間使えるトイレの設置、あるいは、冬場でもトラック等の車両を止められるスペースの確保、そういうふうな事が課題として出てくるので、



100万人を突破した道の駅「米沢」

須藤典夫議員 8月の記録的な豪雨による災害状況はどうなつて

須藤議員 今後への教訓は

宮林総務課長 金山町でも5日午前8時から6日の午前8時までの24時間降水量が312.5mmを記録し、観測史上最大となった。この大雨により、床下浸水11件、道路の冠水や法面崩落、農地冠水等が多数発生したが、人的被害がなかったことは、各地区の自主防災組織の活動あるいは自主避難の実施、区長



被災した農地を調査

「まちの駅」建設構想の結論は 須藤議員 町民や来訪者に町の情報や産物を紹介する公設の「まちの駅」は建設出来るのか。

今の車社会は全く違うので、その辺を考え合わせれば、まちの駅も道の駅も設置するにはかなり窮屈な場所になる。現実的には道の駅、



町長 まちの駅、あるいは、道の駅にしても

まちの駅の建設というのは、非常にお金が掛

かる反面、年間を通しての経営がなかなか成り立たないとそういう事も想定されるので、現段階では物理的な広さの面と、将来の経営面両方を考えると、かなり実現性は難しいと

常任委員会の活動報告

8月集中豪雨による被害への復旧支援を

総務文教常任委員会

問 8月5日から6日、30日から31日の集中豪雨により被害がでている。農地被害の対象にならない農家にも支援を。

答 当初、中山間地域直接支払・多目的機能支払交付金対象地への支援はなかったが、県が3分の1支援をすることになり、県とのやり取りを経て、町の6分の1支援が実現した。

問 修景形成助成金は、町内に住めば出ない、町外に住めば出る。また、危険な空き家にならないと、該当しないという対応では、解体に踏み切れない方もいる。対応の見直しを望むが。



被災した農地を調査

問 われるので、内容を検討したい。中央公民館の設計は、どんな形で、誰に決定するのか。

答 町のシンボルであり、町の景観審議会に相談して、長く携わってきた先生の中から、随意契約で設計者を選定したい。

～産業厚生常任委員会～

報告 会議に先立ち、請願のあった田茂沢地区の被災箇所を調査

問 災害復旧資材で、地区支給が50万円、消耗品が8万円とあるが内容は。

答 土嚢袋や土留め板、木杭等の応急資材を想定している。

問 町内での「集落営農」組織の実態はどうなっているか。

答 今年、荒屋地区5戸の農家で「荒屋集落営農」が立ち上がり、将来は全戸加入の法人化を目指している。ただ、上台地区と漆野地区の組織は解散している。40万円以下の小規模災害復旧対策事業は県が3分の1、町6分の1、個人2分の1の負担とあるが、町の配分を変えることはできるのか。

答 これは案であり、どこまで変えられるかはこれから



田茂沢の請願箇所

問 街なか公営住宅は今後も2棟ずつ建設していくのか。

答 2次計画に入り、4年で8棟を計画しているが、必ず建てるものではなく、社会情勢も勘案して進めたい。

問 10月から医師1名が増えるが、夕診を増やせないのか。

答 先生方は対応できるが、看護師が定員6名に対し3名不足しており、対応できない状況にある。